

障害幼児の発達診断と教育的処遇に関する研究

目 次

I 障害幼児の発達診断と教育的処遇に関する研究

- 研究の目的と方法—……………馬岡 清人・山片 正昭…… 1

II 研究の経過

1. 早期からの発達診断とその課題

- 早期発達診断検査を活用した障害幼児の指導……………小林 倫代…… 5

- 障害幼児の聴覚検査と教育への適用……………菅原 廣一……13

2. 早期からの発達援助とその課題

- 障害乳幼児の「遊び」を通じた知覚・認知発達への援助……………寺山千代子・平井 保…… 19

- 障害幼児の運動発達への援助……………安好 博光……27

- 障害幼児の記号行動の形成……………山片 正昭……31

- 障害幼児相互の交渉行動の促進にむけて……………緒方登士雄・太田 俊己……39

- 障害幼児の親子関係への援助 —母子の遊びへの援助を中心に—……………久田 信行……47

3. 早期からの教育相談システムとその課題

- 所内研究分担者による協議会の記録から—…………… 55